



## 安全のため水銀球などを点検清掃

県電気工事工業組合淡路支部南あわじ地区



▶高所作業車を使って電球の点検と清掃(陸の港西淡)

八月二十六日、兵庫県電気  
工事工業組合淡路支部の南あ

わじ地区電気工事業者の皆さ  
ん(馬部徹代表、四十九業者)

が、市内三か所で水銀  
灯など電球の点検や清  
掃、草引きなどを行  
いました。

八月は電気の使用安  
全を訴える活動が全国  
一斉に展開される「電  
気使用安全月間」。こ  
れにちなんで同支部は、

毎年市内の施設や景勝地など  
で点検等を実施しています。  
今年も、陸の港西淡や福良  
汽船場前、蛸の里公園の三か  
所に分かれ、朝から暑い中、  
施設内の草引きや、高所作業  
車に乗って普段点検が困難な  
街路灯の点検と清掃をしまし  
た。

そのおかげで電球が明るく  
なり、夜間の安全に役立って、  
通行する利用者から喜ばれて  
います。



▲ふ化したばかりのアカウミガメ

## 伝統芸能を通じて交流

三原、志知、淡路三原の三高校

八月二十四日、三原、志知、  
淡路三原の三高校合同フェス  
ティバル「とっておき!『わ』  
の文化」が三原公民館で開催  
されました。

今年四月淡路三原高校の開  
校により、志知、三原両校が  
再来年三月閉校します。それ  
を前に、伝統芸能を通じて三  
高校の交流を図り、これが新  
高校に引き継がれ発展するこ  
とを願い開かれたものです。  
当日は、高校生による淡路

人形浄瑠璃や、だんじり唄、  
和太鼓演奏などが行われた  
後、ファイナレに一般の保存  
会員や市保育所園児、高校生、  
観客の約五百人が一体となっ  
てだんじり唄「玉藻前旭袂  
三段目」を熱唱。会場内は  
力強い歌声に包まれていまし  
た。



▲世代を超えて、だんじり唄「玉三」の大合唱が実現

## アカウミガメが誕生 阿万海岸で40年ぶり

約40年ぶりにアカウミガメの産卵があった阿万海岸海水浴  
場で、8月28日未明、卵がふ化し、赤ちゃんが海へ旅立って  
いきました。現場に居合わせた岩崎俊二さん一家も神秘的な姿  
に感動。子どもたちから「頑張れ」と声援が送られていました。  
アカウミガメは国のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定  
されています。9月11日、NPO法人日本ウミガメ協議会の  
調査で、110個の産卵があり、11個のふ化が確認されました。

土井恵子さんは、昭和六十二  
年十二月から現在までの約  
二十年、民生委員・児童委  
員を務め、地域の福祉向上  
に尽力されています。その  
地道なご苦労に敬意を表  
し、贈られたものです。

## おめでとう 土井恵子さんに 全国表彰



▲土井さん

土井恵子さん(賀集)に、  
全国民生委員児童委員連合  
会長から永年勤続民生委  
員・児童委員表彰が贈られ  
ました。

## ケアンズ語学研修の報告

市長に報告



▲市長へ研修の報告に訪れた海外学生等派遣団の皆さん

このほどオーストラリア・  
クイーンズランド州のケアン  
ズ市を訪れていた海外学生等  
派遣団が帰国し、九月五日、  
中田市長に、語学研修の体験  
報告をしました。

アンズ市でホームステイし  
ながら、英語を学びました。  
報告会で学生らは、「生の  
英語に触れ、益々英語に興味  
が湧いてきた。これからも  
チャレンジ精神で取り組みた  
い。滞在先の子どもは日本語  
を学んでいるので、私も一生  
懸命英語を勉強します」など  
の感想を報告しました。  
中田市長は「異文化と触れ  
合った貴重な経験を、これか  
らの人生に生かしてください  
い」と期待を込めて述べまし  
た。



▲熱心に耳を傾ける受講生

## 外国の言葉を使って遊ぶ

伊加利公民館で国際交流

伊加利国際交流会(西  
久保俊史会長)が、八月  
二十五、二十六の両日、伊加  
利公民館で外国人と「言葉で  
遊ぼう」のテーマで、国際交  
流を行いました。

訪れたのは大阪YMCA日  
本語学科で学んでいる中国、  
韓国、キルギスからの留学生  
六人。約一か月前から、この  
日のためにカリキュラムを組  
むなど準備をしてきました。  
地区の大人三十五人が参加

した二十五日に続き、翌日は  
幼稚園児から小学生までの子  
ども二十人が参加。  
自国の数字や言葉を使って  
ゲームを行い、最初は照れて  
恥ずかしがっていた子どもた  
ちも、笑顔でやさしく接する  
留学生と打ち解け、楽しみな  
がら語学の学習をしていまし  
た。



▲外国語を使ったゲームで交流する留学生と子どもたち

## 地域に根ざした文化を育む 文化プロデューサー養成講座

淡路島の伝統芸能によるまちづくり推進事業実行委員会主催の、プロ  
デューサー養成講座が、9月6日市地区公民館で行われました。  
講座は、地域に根ざした文化をとおして人々が心をかよわせ、まちに  
創意と活力をもたらす「文化プロデューサー」を養成することを目的と  
しています。1回目のこの日は、市民プロデューサーの役割や必要な視  
点、活動内容などを、講師が具体的にわかりやすく説明していました。  
なお、10月以降も同講座を開催しています。(16頁に募集記事)



▲8月30日、市長(左)へ報告に訪れた顧問の船越いくみ教諭(右)と亀井兼織部長(中央左)、今田早紀副部長(中央右)。「みんなでよい演奏ができ、最高の賞が取れました」と喜んでいました。



▲前列左から、榎本さん、島田さん、社家さん、後列左から、上田さん、野口さん、喜田さん

リップスの部で、Aチーム  
(榎本行市、島田孝、社家  
薫)が優勝。Bチーム(野  
口浩一、喜田篤實、上田龍  
司)が三位に輝き、全国大  
会出場を決めました。

## 御原中学校吹奏楽部 県大会金賞受賞

御原中学校吹奏楽部  
(三十五人)が八月十日、  
西宮市民会館で行われた  
「兵庫県吹奏楽コンクール  
(S部門)」で三年連続とな  
る金賞を受賞しました。